

平成28年 秋季号

仙台市 農業委員会だより

発行日 平成28年10月1日

編集と発行

仙台市農業委員会
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022(214)4308(直通)



名取市耕谷の1枚3.2haの大区画ほ場

農政部会視察研修会を 開催しました

農業生産の課題解決や改善に役立てるため、7月26日(火)、農政部会視察研修会を開催しました。

ここ数年で荒廃が目立ってきた若林区日辺の河川敷の畑を確認した後、名取市を中心に営農を行っている(有)耕谷アグリサー비스(代表取締役 大友清康氏)に伺い、お話を聞きしました。

農地集積等による経営合理化を進めるため、地域の担い手が設立した(有)耕谷アグリサービス。震災で農地の9割が水没し、農機具も流出するなどの被害を受けましたが、米、大豆を中心に順調に作付けを伸ばし、地域農業を支える存在になっています。

被災して営農が難しくなった農家からの委託は、断らないことになっているそうです。

この後、(株)南東北クボタを視察し、鉄コーティングを利用した直播や、最新の農業機械について説明を受けました。

これからの農業経営に不可欠な、経営の効率化を考える上で、大変参考になった研修会でした。

女性農業者の皆様との懇談会を開催しました

農業委員会では、7月28日(木)に、JA仙台宮城支店の女性部の皆様との懇談会を開催しました。

初めに、4月の農業委員会法改正に伴い制度が変更になったこと、農業委員会として女性農業者の活躍等に力を入れていること、などの説明を行いました。その後、女性農業者の方々から、農業を行うていくうえで困っていることなどのお話を伺いました。



皆様からは、「後継者がいないので代わりに作ってくれる人を探したいが、どうすればいいかわからない」、「排水が田に流れ込み困っている」、など身近な悩みが出されました。

今回出された意見等については、関係する部署に情報提供を行い、改善が図られるよう努めていきます。

参加していただいた女性農業者の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

農業者年金加入者の目標達成で表彰されました

6月28日(火)の宮城県農業者年金協議会総会において、農業者年金の新規加入者の確保に努めたことが認められ、仙台市農業者年金加入者協議会(会長 佐々木均)が優秀賞の表彰を受けました。



これも、市内の農家の皆様が、農業者年金に積極的に加入していただいた結果です。今年度も目標達成に向けて頑張っていきます。



遊休農地が一部解消したことを確認しました

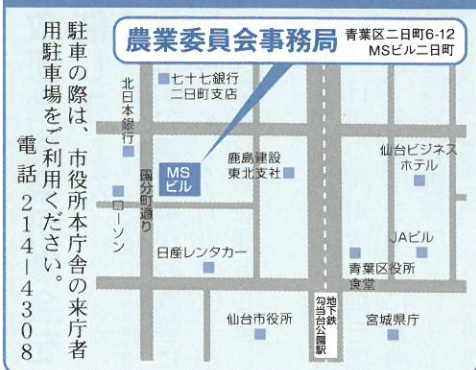
昨年行った農地利用状況調査で、営農再開が可能と判断された遊休農地のうち、所有者の皆さんが自ら営農再開をすると申し出があった農地について、6月に現地調査を行いました。

事前に地区の農業委員が耕作再

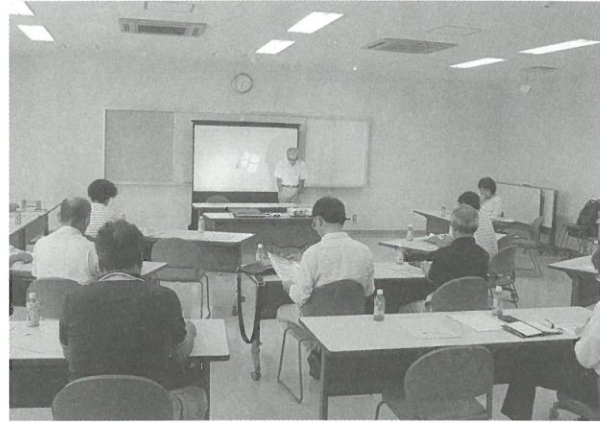
開に向けて助言等を行っていたこともあり、雑草や竹などが生い茂っていたところが耕作再開されている状況を確認しました。



農業委員会事務局 案内図



農業者年金制度の説明会を開催しました



農業委員会では、初めての試みとして、JA仙台六郷支店において、地区の農業者の皆様を対象に、年金制度の説明会を開催しました。「自ら積み立てた保険料とその運用益で将来の受取額が決まる積立方式で安心」「加入・脱退も自由」「支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となる」など、農業者年金ならではの特長を参加者の皆様にお伝えすることができました。

今後、他の地区でも開催してまいります。

農業者年金制度については5ページをご参照ください。

トラクター等で公道を走行するときは大型特殊免許が必要な場合があります

小型特殊自動車として登録されている農耕車でも、①時速15kmを超える速度が出せるもの、または②長さ4・7m、幅1・7m、高さ2m（キャンビン、安全フレームの場合は2・8m）のいずれか一つを超えるものを、公道で運転する場合は、大型特殊免許（農耕車に限る）が必要です。

これは、自動車の登録について定めている道路運送車両法と、自動車の運転免許について定めている道路交通法で、小型特殊自動車の区分が異なるためです。

農作業に必要な免許を取得しううえで、安全運転に努めましょう。

地区振興委員会を開催しました

8月1日(月)から5日(金)にかけて、

市内5区で地区振興委員会を開催しました。

農業委員会では、地域の皆さんが抱えるさまざまな課題に取り組む、また委員会活動に対する点検・評価の参考とするため、地区振興委員会を開催しています。

それぞれの地区ごとに農業委員、業務推進員、認定農業者の皆さんが参加し、市経済局農業振興課職員の方から、農地利用集積関連制度等の情報提供を受けた後、地域農業の振興について意見交換が行われました。

参加した皆さんからは、「中山



間地の農業振興について市として基本構想はあるのか」、「ほ場整備の面積要件の下限を下げてほしい」、「後継者育成にもっと力を入れてほしい」、など、さまざまな質問や意見が出されました。各地区で出されたこれら貴重なご意見については、関係する部署に情報提供を行い、改善が図られるよう努めていきます。

ここが変わった 農業委員会制度(第2回)

◆農地利用最適化推進委員を新設

農業委員会は、農地等の利用の最適化推進に熱意と識見を有する者のうちから、農地利用最適化推進委員（推進委員）を委嘱しなければならないこととされています。

担当区域において、①人・農地プランなど、地域の農業者等の話し合いを推進、②農地の出し手・受け手へのアプローチを行い、農地利用の集積・集約化を推進、③遊休農地の発生防止・解消を推進、といった現場活動を行うこととなります。

仙台市では、新たな農業委員の任期が始まる平成30年7月15日以降に、新たな推進委員が誕生します。

経営改善研修会の開催について



昨年度の経営改善研修会

農業経営の改善を支援するため、J A仙台との共催で研修会を開催します。

参加を希望される方は、10月25日(火)までにJ A各支店、農業委員会事務局あてお申し込みください。

■日時

平成28年10月28日(金)

午後2時から4時まで

■会場

仙台市役所8階ホール

(青葉区国分町3-7-1)

■対象者

市内の農家の方どなたでもご参加ください。

■内容

◆講演「地域の力を結集した法人

化の方策」

講師 農事組合法人カミックス

(加美町)

代表理事 近田利樹 氏

◆情報提供「農地中間管理事業制

度のポイント」

講師 みやぎ農業振興公社

地域コーディネーター

■申込先

農業委員会事務局振興係

(214-4353)

複式簿記(基礎)講習会

開催のお知らせ

初めての方にもわかりやすい、複式簿記(基礎)講習会を開催します。「売上げは伸びてるけど、儲かっているのだろうか?」そんな方にお勧めです。



参加を希望される方は11月25日

(金)まで、農業委員会事務局あてお

申し込みください。

■日時

平成28年12月1日(木)、2日(金)

午後2時~5時まで

※2日間通しでの受講となります。

■会場

J A仙台本店3階第2会議室

(宮城野区新田東2-15-2)

■対象者

市内の農家の方どなたでもご参

加ください。

■講師

農業経営診断士 本田 茂 氏

■申込先

農業委員会事務局振興係

(214-4353)

女性農業者のための

機械講習会を開催します

トラクター等の基本的な仕組みを知って、安全で楽に農作業をしてみませんか?

実際に農機具を動かしながら学び、終了後はランチをいただきます。がら交流会を行います。

参加を希望される方は10月25日(火)まで、農業委員会事務局あてお申し込みください。

■日時

平成28年11月1日(火)

午前10時~午後1時30分

■場所

J A仙台松森育苗センター

(泉区松森字城前16)

■対象者

市内の女性農業者の方ならどなたでもご参加ください。

■参加費用

1,000円(昼食代)

■申込先

農業委員会事務局振興係

(214-4353)



農業委員会の今後の活動予定

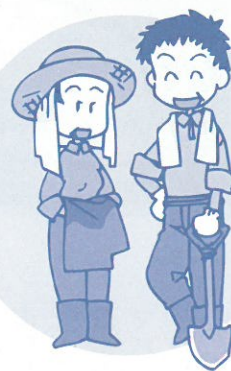
11月 農地パトロール

あなたの老後生活への備えに、積立方式・確定拠出型の年金で安心な、
税制面での大きな優遇措置がある

「農業者年金」に加入しましょう!

※仙台市内では、平成25年度から平成27年度までに27名の方々が新規に農業者年金に加入しています。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新規加入者数 (うち39歳未満)	9名 (5名)	4名 (2名)	14名 (11名)



農業者年金の特徴

I. 農業に従事されている方は、誰でも加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く。）であって、年間60日以上農業に従事している方は、誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

II. 保険料は自分で選べ、いつでも見直せます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万円～6万7千円の間で千円単位）、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

III. 税制面で大きな優遇措置があります

- ◆ 支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。（支払った保険料の15%～30%程度が節税）
- ◆ 農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益（保険料の運用益）は非課税です。
- ◆ 将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。
(65歳以上の方は公的年金等の合計が120万円までの場合は、全額控除できます。)

IV. 農業者年金に加入すれば

～農業者年金の支給額（年額）の試算～

●農業者年金は終身年金です。

加入年齢	納付期間	運用利回り2.5%の場合		運用利回り3%の場合	
		男性	女性	男性	女性
20歳	40年	79万円	66万円	87万円	73万円
30歳	30年	52万円	44万円	56万円	47万円
40歳	20年	31万円	26万円	33万円	27万円
50歳	10年	14万円	12万円	14万円	12万円

※この試算は、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%及び3%、65歳以降の予定利率が0.50%となった場合の試算です。

※運用利回りは、加入後の経済変動などにより上下します。制度発足以降の13年間（H26まで）の運用利回りの平均は、年率3.00%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、平成28年度は0.50%となっています。

(お問い合わせ)

農業委員会事務局振興係 電話 022-214-4353

あなたの出番です

宮城野区福室にお住まいの

あいはら 相原 美穂 さん

にお話しを伺いました。

Q 農業に従事したきっかけは？

A もともと父が専業農家で、水稻やハウス野菜を作っていました。私は市場に就職し、セリ人をしていて売る側だったので、震災を機に視点が変わって、作ることも勉強しなきゃと思い、就農しました。

Q 農作業はどうですか？

A 父とは別に、仙台市東部の被



災農地の畑を借りて露地野菜を作っていますが、最初は土壤改良から始めなければならなかったのが大変でした。それと、ハウスと露地では作り方が違ったりするので、父に聞いても分からないことだらけでしたが、今では私の方が上かも…と思っています。

Q あなたの楽しみは？

A 友達や知人と、自分の畑で採れた野菜を使って、自宅でパーベキューをすることですね。軽トラックの荷台に、サーバーや色々な食べ物置いて、愛称「軽トラBAR」で飲んで、自分が作った野菜を食べてもらって、「美味しい」と言ってもらうのが楽しみです。野菜を使って、コミュニケーションができるのも農家の良いところかな。

Q これからの夢は？

A お酒が好きなので、自分で作った米で日本酒を仕込んで飲むのが夢ですね。それと、自宅が市街化区域内の住宅地にあるので、立地条件を活かして、食と農が身近に感じてもらえるテーマパークみたいなオープンな農業をしたいですね。

(聞き手：阿部弘昭委員)

がんばってます

泉区上刈谷

かやば 萱場 要輔 さん



私は農業にかかわるようになってから、10年目になります。北海道拓殖短期大学卒業後、北海道フリーターとして1年間バイトをしていました。実家に戻って、親父が一人で農業を行っているのを見て、手伝い程度で始めたのがきっかけです。

現在、水田のある場所は自宅から40kmも離れた大崎市田尻で、5haの水稲を親と二人で作っています。農業機械をトラックで運んだり、年4回の草刈り、特に水管理は大変苦勞しますが、美味しいお米を作るためには仕方ありません。管理は大変ですが、等級は毎年すべて全量1等米になっており、JA仙台への出荷の他、4割は直販を行っています。米を中心に

栽培している生産組合の先輩から指導を受けたりして、私一人ですべて出来るよう頑張っています。自分の作った米を一番最初に試食することや、手伝いに来てくれた人と作業後の打ち上げのビールを飲むことが私の楽しみです。野菜は自給自足用で食べる分を、育苗ハウスを利用して栽培しています。平成30年から減反制度がなくなり、今後、米の価格がどうなるのか心配です。

農業団体の会議等に出席すると、若者がいないので、魅力ある農業・後継者の育成手段の政策を考えてもらいたいと思います。また、農業専門の大学を卒業した人が、営農指導を担当し、気軽に相談できるような場所が身近にあればいいなと思っています。

(担当：梅田元雄委員)

編集後記

台風の多い年ですが実りの秋を迎えました。もう新米を食べた方もいらつしやることでしょう。みなさんの収穫の手ごたえはいかがでしょうか。

会報編集委員の一部に異動があり、阿部康幸委員の後任として、大泉権吾委員が新たに加わりました。

(編集委員長 阿部弘昭委員)